

## 土佐の「おきゃく」2024「안녕하세요(アニョハセヨ) 高知YEG韓国屋台」

日時: 令和6年3月9日(土)10日(日) 場所: 帯屋町バラソーレ下

令和6年3月9日(土)・10日(日)土佐の「おきゃく」2024中央公園イベントに「안녕하세요(アニョハセヨ) 高知YEG韓国屋台」として参加しました。今回は韓国をテーマとして、スンドゥブ、キンパ、ヤンニョムチキン、チーズボールや各種ドリンクの他マッコリ、チャミスルを販売し、さらに今回は、ガラガラくじも行い沢山のお客様に喜んでいただきました。

イベントを通じて地域貢献、また沢山のOBの先輩方にも来ていただいた事で現役との交流を深める事が出来ました。

今回担当しました和気藹々委員会及び同心協力委員会の皆様、大変おつかれさまでした。



## 令和5年度 卒業例会

日時: 令和6年3月18日(月) 場所: 高知商工会議所

令和6年3月18日(月)に、ザ クラウンパレス新阪急高知にて、高知YEG令和5年度卒業例会が開催され今年度で卒業する24名の門出を祝うため盛大に行われました。

卒業例会では、卒業生1人1人からお言葉を頂き、たくさんの思い出とアドバイスを頂いたのち、会長から心のこもった送辞が送られ記念品、花束贈呈を行いました。また、卒業生から現役会員に青年部備品が贈られました。最後に卒業生を代表して、武田君より答辞が述べられました。

その後の懇親会では、担当委員会によるシャンパンタワー等新しい試みの設えもあり、毎年恒例となっている松岡専務理事からの送辞で大いに盛り上がりました。最後には、卒業生を代表して田村 勝介君より在会生へ向けたYEG活動への思いを込めた、答辞が述べられました。

会場には沢山のOB会員にもご来場いただき、とても心のこもった素晴らしい卒業例会で先輩を送り出すことができました。今回担当したマネープランナー委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。卒業生の皆様今後ともよろしくお願いたします。

令和5年度卒業生 (敬称略、五十音順)

池田 実、和泉 潤、伊野部 啓、浦田 愛、北岡 由梨、国沢 杏平、小松 和明、佐々木健二、高濱 達也、武田 弘己、竹林 祐亮、谷合 健太、田村 勝介、辻本 一英、出未 寛之、中内 恵介、畠中 拓馬、濱田 喬廣、広末 雅士、日和崎 守、深田 雄一、藤田 健治、政木 慶次、三谷 剛平



高知YEGの活動を  
紹介しています!

フォロー、チャンネル登録をお願いします

▲Facebook ▲YouTube ▲Instagram

あなたは  
何色にも  
なれる。

新規会員  
募集中

YEG

令和6年度の事業内容について  
教えてください。

泉 卓文  
令和6年度高知商工会議所青年部 会長

化・政策提言・SDGs活動への取組・広報ブランディング・ビジネス向上・交流と6委員会



令和6年度高知商工会議所青年部 会長

泉 卓文

<勤務先> 株式会社TKIフーズ  
(旬彩卓「本店」「別卓」天ぶらすぐる)  
<営業品目> 飲食店



を設置し活動をしてまいります。現在、会員数は4月1日付けで104名とここ数年の卒業生が20数名と多く、会員数の激減が課題の一つであり、そこに向けた取組として組織増強活性化として会員数の獲得をして行きます。

商工会議所は政策提言をして行く団体です。そして昨今SDGsを取り入れた政策提言をし持続可能な組織作りが求められていると感じており、様々な課題がある中、青年部としてどう取り組むのか、そして地域へどう貢献していくのかを考え行動して行こうと計画をしています。

広報ブランディングに関しては、地域に根差した青年団体である事を、SNS等を通じて広報していく事によりYEGブランディングをしより多くの方に高知YEGを知ってもらい活動

を共にする同志が増える事を目的としてまいります。ビジネス向上・交流に関しては、AI導入やチャットGP等、現代では様々な情報がある中、自社業としてどう取り組むのか、取り入れて行くのかをメンバー全員で発見、体験をして今まで以上に自社業への発展が出来ればと考えています。

会長職への意気込み 思いをお聞かせください。

商工会議所は商工業の集まりです。メンバー全員がYEGを通じて社業の発展が出来るよう、YEGに入ってから良かったと思ってもらえる様に今まで以上にメンバー間での交流や情報交換を密にし、各メンバーに社業を通じて儲けてもらい、地域経済の発展へと一翼を担って参ります。又、今年度は高知YEG 40周年という節目でもあり、先

輩諸兄から脈々と受け継がれてきた歴史を今一度再確認をし、地域で必要不可欠である青年団体だと思ってもらえるように取り組んでまいります。

青年部に入会して良かったことを教えてください。

私が入会して、直ぐに新型コロナウイルス感染が始まりました。今迄体験した事のない出来事、日に日に変わる社会情勢等への対応を迫られ何をどうしているのか分からない状況の中、YEGの仲間が気にかけてくれ助けてくれたり、青年部事務局が親身になって相談にのっていたりと、青年部に入会して居なかったら今、自分がここに居る事はないと確信しています。それぐらい凄い組織である事を痛感した自分だからこそ、今後 恩返しという形で青年部に貢献できたらと考えています。